

タイから東北への国際定期路線再開に向けたプロモーション事業

業務仕様書

(一社) 東北観光推進機構

仕様書

1. 業務名

タイから東北への国際定期路線再開に向けたプロモーション事業

2. 目的

タイ市場は、東北にとって大きなマーケットであり、2019年10月にはタイ国際航空がバンコクー仙台間を結ぶ定期路線を就航させていたが新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年以降運休の状況が続いている。

タイにおいては引き続き訪日旅行意欲が高く、日タイの交流が活性化していること等を踏まえ、旅行会社招請、旅行博覧会への出展を実施し、タイから東北を訪れるツアーの造成・販売促進と、東北の知名度や訪問意欲の向上を図り、早期の訪東北タイ人旅行者数の回復や東北への直行便就航につなげる。

3. 事業上限金額

金8,950,000円（消費税及び地方消費税を含む）

※なお、記載の金額はあくまで現時点での事業上限金額であり、今後の予算確保の状況により変更となる場合がある。

4. 契約期間

契約日から2026年3月18日まで

5. 事業内容

（1）旅行会社招請

バンコクなど首都圏在住の高・中間所得層をターゲットにした高付加価値の団体ツアーを中心に造成しているタイ現地の大手旅行会社2社5名をグリーンシーズン（5月中旬～6月中旬頃）に招請し、東北の観光資源を視察することで旅行商品の造成を促すとともに、旅行会社の保有するメディア媒体等を通じたグリーンシーズンの魅力訴求を行う。

なお、招請する旅行会社の選定・事前調整・フォローアップ・通訳の手配は、委託者および東北観光推進機構がタイ現地に設置しているASEANサポートデスクが主体となり実施する。

委託内容

① 招請行程の提案

- ・宮城県・福島県を中心に、東北のグリーンシーズンの魅力を中心に訴求する4泊5日（機内泊含まず）の視察行程を提案すること。宿泊先は宮城県（仙台市除く）、仙台市、福島県で各1泊以上することとし、福島県での視察時間と比較して、宮城県・仙台市それぞれにおける視察時間が長くなるよう設定すること。
- ・訪問先は、インバウンド対応および団体受入を行っていることを条件とし、前述のターゲットの趣向を捉えており訴求が可能な観光スポット、祭り、食事、体験コンテンツ、宿泊施設などを網羅できるよう選定すること。また、選定理由を明記すること。

- ・行程は、効率的かつ視察時に情報発信用の写真や動画等を撮影することを想定した行程とすること。
- ・各日の宿泊施設への訪問の際には、客室や付帯設備の見学等、同施設の担当者による施設紹介を実施すること。この際、施設の十分な紹介を行うことができれば、同施設での宿泊は行わなくても構わないものとする。
- ・フライトは原則として東京発着とするが、東北への直行便就航の状況によっては、委託者と協議の上変更することも可とする。
- ・最終的な行程は、受託者による提案に基づき委託者と調整の上決定することとする。

② 招請に向けた旅行手配等

- ・被招請者の旅行手配について、被招請者の自宅から出発地である海外拠点空港までの移動を含む海外渡航費、日本国内交通費・宿泊費・食事代等を計上すること。
- ・委託者が手配する通訳者は、海外拠点空港を出発し、到着するまでの行程に帯同予定である。それにかかる日本国内交通費・宿泊費・食事代等（海外渡航費を除く）を計上すること。
- ・招請中の移動手段として、専用車を手配すること。
- ・観光施設等の視察に係る経費を計上するとともに、事前に取材許可及び見学費の減免許可等を得ること。
- ・宿泊先は、原則1人1部屋ずつ手配すること。
- ・被招請者に当該事業に係る傷害保険を手配することとし、必要な経費を計上すること。
- ・被招請者に対してアンケート調査を実施し、集計及び分析の上報告すること。なお、アンケートの内容については、事前に委託者と協議することとし、今後のタイ市場からのインバウンド誘客への検討材料となるものにする。
- ・旅行手配にあたって被招請者と調整が必要な事項は、委託者およびASEANサポートデスクと連携し、業務分担や実施漏れ・重複等が起こらないよう細心の注意を払って遂行することとする。

(2) 旅行博出展

東京・大阪・京都等を訪れたことがある訪日リピーター層、30代以上の中間所得者層～富裕層を主なターゲットとし、タイ最大の旅行シーズンであるソンクラーン（タイ正月：4月中旬）やグリーンシーズンのPRに向けて、例年1～2月に現地で開催される旅行博（Thai International Travel Fair）に出展する。

ブースでは、東北の魅力をスタッフからパンフレットやブース装飾、各種媒などを活用して来場者と積極的なコミュニケーションを取りながら、例年質問が多く寄せられる「東北へのアクセス」「各季節の魅力」「桜・紅葉・雪などの時期」「主要観光地の周辺の観光情報」などを含めてPRすることとする。

委託内容

① 主催者等との連絡調整等

- ・主催者への出展申込やブース出展料の支払い、その他出展に係る連絡調整及び手続等を行うこと。

② ブースの設計

- ・来場者への対応がしやすく、かつブース内のスタッフの動線を配慮した設計とすること、
- ・パンフレット入り段ボールや貴重品等を収納し、施錠可能な棚又はスペースを確保すること。
- ・東北各県・市の観光動画をブースで放映できるよう、必要な機材等を設置すること。

③ ブースの装飾

- ・ 出展名は、「Sendai/Tohoku Japan」とし、3ブース以上確保すること。
- ・ 桜や雪の回廊、グリーンシーズンの観光地の中からインパクトがある東北の背景装飾をするとともに、タイ人が好む果物等、食べ物のビジュアルを加えたブースデザインとすること。
- ・ ブースパネルの造成にあたっては、掲出される観光地の割合が、宮城県・山形県・福島県・栃木県：青森県・岩手県・秋田県・新潟県で凡そ2:1の割合となるようデザインすること。また、東北・栃木の位置やアクセスが分かるような地図を掲載すること。
- ・ 「Treasureland TOHOKU JAPAN」のロゴを使用すること。
- ・ 東北・栃木のブースであることが分かるよう、視認性の高いブースデザインとすること。

④ ブース係員の手配およびPRの実施

- ・ ブース係員として、タイ語及び日本語での会話ができ、東北の観光説明を行う能力がある者を1ブースあたり1名配置して、東北の観光の魅力を説明しながら、東北各県・市のパンフレット等を来場者に配布すること。
- ・ ブース係員は原則として過去に仙台・東北ブースの通訳業務経験がある者から選定すること。

⑤ インタビュー調査の実施

- ・ 来場者とのコミュニケーションを通じて東北への関心と理解を深めてもらうとともに、タイ人の旅行嗜好や東北の現在の知名度等を調査するため、定性（インタビュー）調査を実施すること。
- ・ インタビュー内容は、本事業の改良点のほか、今後より東北への訪問を促すために必要となる取組みを見出すために有益となる内容を提案すること。また、インタビュー内容を分析の上、現状の課題や今後必要となる取組みについて提案すること。
- ・ サンプルは各日5名程度×10分程度、東北への訪問経験がある方・ない方で半数程度になるように回収することとする。なお、インタビュー協力の御礼として適切なノベルティを用意すること。
- ・ インタビューアはASEANサポートデスクのスタッフが行うこととする。

⑥ 各種キャンペーンの実施

- ・ ブースにおいて、「TOHOKU Fan Club」の会員獲得、宮城県・山形県・福島県・栃木県・仙台市のタイ語版Facebook等のフォロワー増加に資するSNSキャンペーンを提案・実施すること。
- ・ 「TOHOKU Fan Club」会員獲得用に東北に関するノベルティを250個以上、仙台市のタイ語版Facebook等のフォロワー獲得用に仙台市に関連するノベルティを200個以上準備すること。この際、ノベルティは作成しても購入して用意しても構わないものとするが、タイ市場において訴求力があり、キャンペーンの参加意欲を高めるものを手配することとする。

⑦ 現地への荷物輸送

- ・ 観光PRに使用するパンフレット等の物品を日本からタイに輸送すること。なお計上の際には、20kg×30箱として行うこと。（船便想定）
- ・ 輸送にあたって発送物の確認及びインボイス等の作成を行うこと。なお、発送物のリストは委託者から提供するものとする。

⑧ 商談会等参加

- ・ 出展する旅行博に併せて商談会等が開催される場合、参加費用の支払い等当該商談会等に参加するための連絡調整及び手続等の手配を行うこと。
- ・ 商談会は3団体分（1団体あたり日本側2名＋通訳者1名）を申し込むこと。また、通訳は2名の手

配とし、もう1名は東北観光推進機構が手配する。

(3) その他

業務目的を達成するために効果的であると考えられる内容があれば提案し、実施にかかる費用を計上すること。実施内容は委託者と協議の上決定する。

《具体例》

- ・(2)の出展に際し、(1)で招請した旅行会社と連携して造成した商品の販促を行う。
 - ・(2)の出展に際し、東北商品購入者に対するインセンティブを準備する 等
- ※上記はあくまで例であり、実施可否については確認を行っていない。

6. 事業報告書の作成及び提出

- ・旅行会社招請が終了してから概ね30日以内に、招請内容をまとめた中間報告書を作成し提出すること。なお、報告書は東北観光推進機構、東北7県が旅行会社へのセールス等に自由に使用できるものとする。
- ・2026年3月18日までに事業報告書を提出すること。

7. 事業効果の把握に関すること

- ・本事業が、東北7県及び栃木県を主体とした旅行商品の造成や誘客促進、認知度向上につながったことを具体的に把握できる成果指標の設定及びその測定(調査)方法を提案し、効果の測定を実施すること。
- ・旅行会社招請については、招請地域を含む旅行商品造成のベースとなり得るモデルコース等を成果物として提供すること。
- ・旅行博への出展については、ブースへの来場者数等の成果指標の設定を行い、効果の測定を実施すること。

8. その他

- ・事業実施にあたっては、上記金額内の東北観光推進機構が指定する額で、東北観光推進機構、宮城県、福島県、仙台市及び栃木・南東北国際観光テーマ地区推進協議会とそれぞれ契約を締結すること。
- ・受託者は、委託者と締結した「業務委託契約書」の各条項を遵守し業務を遂行すること。
- ・受託者は、業務に要する機材および消耗品について準備すること。
- ・受託者は、業務の各段階において業務の遂行について随時報告を行い委託者の了解を得ること。
- ・受託者が業務を遂行する上で必要な資料等は、受託者において入手すること。
- ・委託者が必要と判断した際には、受託者と協議を行った上で、本契約の内容を変更することができる。

以上